

2012年4月5日
株式会社 Skeed

ビッグデータ時代のデータ蓄積基盤製品 「SkeedObjectStore™」提供開始のお知らせ

培ってきた先進的な P2P^(*)技術を用い、大容量ファイルへの高速アクセスを実現

株式会社 Skeed(代表取締役社長 明石 昌也／以下、Skeed)は、ビッグデータ時代のデータ蓄積基盤製品「SkeedObjectStore™」を4月9日より発売開始します。

「SkeedObjectStore™」は、Skeed が培ってきた先進的な P2P 技術を用いることで、複数サーバーより構成されるクラスター上に独自の分散データ蓄積基盤を形成、データを分散・複製・保持します。同時に、保持されている大容量ファイルやアクセス集中により入手しづらいデータファイルへの高速アクセスが可能なスケールアウト型データ配信基盤を形成します。

*1 P2P：サーバーを経由せず、端末間で直接やり取りをするシステムおよびそれを実現する技術を指す。Peer to Peer の略。

ハードウェアの進歩やクラウドの普及に伴い、取り扱うファイルサイズは肥大化する一方、転送速度においては、ネットワーク回線がボトルネックとなるため、むしろファイル入手に時間を要してしまう、という問題があります。

この問題を解決するため Skeed は、大容量ファイルの取得を実現するミドルウェア「SkeedObjectStore™」を開発し、1年以上の開発、検証期間を経たのち、製品化に至りました。「SkeedObjectStore™」は複数サーバーを協調、連携させることでオーバーレイネットワーク^(*)を形成、分散データ蓄積領域を創出した上、レプリケーションに基づく分散配置およびデータ喪失の回避を実現しています。またアクセス時には、SkeedCast[®]^(*)で培ってきたスケールアウト型高速データ配信技術のノウハウを適用することで、大容量ファイルやアクセス集中により入手しづらいデータファイルを可能な限り迅速に入手することが可能になります。

「SkeedObjectStore™」は HPC^(*)や大規模ファイルシステムの分散データ蓄積基盤として効果的な活用が見込まれます。

*2 オーバーレイネットワーク：汎用プロトコルで形成されたネットワーク上に、独自ルールに基づき形成された仮想ネットワークのこと。

*3 SkeedCast[®]：100万人超のユーザーに利用されたファイル共有ソフト「Winny」のノウハウをもとに作られた大容量データ配信ソフトウェア。ネットワーク構成端末数に応じ、配信能力が高まる「無限のスケールビリティ」が特徴。

*4 HPC：スーパーコンピューターやクラウドで採用されている分散コンピューティング技術であり、High Performance Computing の略。

■主な特徴について

1. 分散データ蓄積基盤の形成と柔軟な拡張性の担保

「SOS モジュール^(*)」を適用することでサーバー群を協調、連携させ、ファイルの分散配置を可能とする分散データ蓄積領域を形成します。また、「SOS ネットワーク^(*)」は、任意のサーバーや端末の追加が可能であり、これにより蓄積領域を柔軟に拡張することができます。

*5 SOS モジュール：「SkeedObjectStore™」を構成するサーバーモジュール(Storage Module)およびクライアントモジュール(Cashe Module)の総称。

*6 SOS ネットワーク：「SOS モジュール」により、ネットワーク上に構築される独自のオーバーレイネットワークのこと。

2. 重複排除を伴った、重要度合いに応じた柔軟なレプリケーションを実現

投入データ(ファイル)の重要度合いに応じた柔軟なレプリケーション、すなわちブロック化されたファイルの任意の冗長構成による分散配置を実現しています。その際、重複データの排除を行うことで、データ蓄積領域を最大限効率的に活用していきます。また、客観性のあるハッシュ値^(*7)を採用することで整合性の維持を実現しています。

*7 ハッシュ値：ドキュメントや数字などの文字列の羅列から一定長のデータに要約するための関数のことをハッシュ関数といい、ハッシュ値とはハッシュ関数を通して出力される値のことをさす。

3. リクエストの多いファイルほど高速アクセスが可能

レプリケーションによる分散データ蓄積に加え、SkeedCast®で培った P2P 技術に基づくスケールアウト型高速データ配信技術が応用されており、データへアクセスした端末自身も取得データを保持、配信します。これまで入手に時間を要してしまっていた数 GB といった大容量ファイルあるいはアクセス集中により入手しづらいデータファイルであっても、より高速での取得が可能になるばかりでなく、ネットワーク規模の増大に合わせたスケーラビリティの確保が可能となります。

■「SkeedObjectStore™」の価格および提供時期について

製品名	販売価格(税抜)	販売開始	出荷開始
SkeedObjectStore™	7,500,000 円 ^(注) ~	2012 年 4 月 9 日	2012 年 4 月 27 日

注：最小構成は、サーバー 5 ライセンス、クライアント 5 ライセンスから。

■株式会社 Skeed について

Skeed は、進化し続けるネットワーク活用、そのニーズに応えるべく、独自のプロトコルを研究、開発し、アプリケーションや機能に応じて使い分けることで、現代のネットワーク事情にふさわしいグローバル水準のネットワークソリューションを創出していきます。例えば、急速に押し寄せる情報大爆発、ビッグデータ時代の到来は、物理回線の広帯域化、ゲートウェイの高速化だけでは十分には対応できません。ネットワーク上のデジタルデータの流通というテーマに対し、Skeed は、多数のマシンの協調動作によるオーバーレイネットワークを用いた効率の良い信頼性の高いファイル配信やファイル保管の基盤の実現、また大容量・長距離でのセキュアなデジタルデータ転送基盤の実現などにより、ターンキーソリューションを創出していきます。

<http://www.skeed.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社 Skeed マーケティング部[担当:戸田]

〒153-0063 東京都目黒区目黒一丁目6番17号 目黒プレイスタワー5階

電話番号 03-5487-1032(代表)